

佐野市歌

作詞 松島賢一
 (佐野市歌選考委員会選考)
 補作詞 榊原広子 (夕・カーポ)
 作曲 榊原政敏 (夕・カーポ)

♩=100



1. すがたやさしい みかもやま きぼうあふれる あおいそら
 2. みどりしたたる からさわの かおりゆかしき まつのかげ
 3. みずもきよらに わきいでてひとをうるおしかなでゆく



げんき いっばい 佐野 ゆめみらい— あし
 あいが いっばい 佐野 ゆめみらい— れき
 えがお いっばい 佐野 ゆめみらい— ゆた



たをひら—く かがやくみち—が ここ
 しをつづ—る まんよのさ—と ここ
 かなめく—み みのるよろこ—び ここ



ろつない—で のびる まち佐野
 ろはくく—み いきる まち佐野
 ろふれあ—い あゆむ まち佐野

佐野市の花、木、鳥

〔花〕かたくり ユリ科カタクリ属、多年草植物

かたくりは、佐野市内の山野に自生し、毎年3月下旬から4月上旬にかけて可憐で淡く鮮やかな紫色の花が一斉に咲きそろい、訪れる人々の目に潤いを与えています。その姿は佐野市民の心の優しさと清らかさを表すものです。



〔木〕松 マツ科マツ属、針葉樹

松は、唐沢山をはじめとして、佐野市の自然景観を豊かにしています。幹は天高くそびえ、樹皮は強健勇壮、枝は四方に勢いよく広がり、葉は車座に着き、その姿は佐野市民の力強さと佐野市の発展を表すものです。



〔鳥〕おしどり カモ目カモ科

おしどりは、『おしどり塚』の故事などにより佐野市にたいへん縁の深い美しい水辺の鳥です。全国各地に伝わる雌雄のおしどりに関する故事は、『おしどり夫婦』の語源とも言われ、仲むつまじい姿は佐野市民の家庭円満と幸せを表すものです。

